

第1回『多自然型川づくり』レビュー委員会 議事次第等

議 事 次 第

1. 開会挨拶
2. 委員紹介
3. 趣旨説明
4. 資料説明
5. 議 事  
多自然型川づくりの現状について
6. 閉 会

---

資料リスト

- 資料 - 1 第1回「多自然型川づくり」レビュー委員会 議事次第等  
資料 - 2 第1回「多自然型川づくり」レビュー委員会 資料

## 『多自然型川づくり』レビュー委員会 委員名簿

### 委員

山岸 哲（委員長）	財団法人山階鳥類研究所所長
角野 康郎	神戸大学教授
岸 由二	慶応義塾大学経済学部教授
島谷 幸宏	九州大学大学院工学研究院環境都市部門教授
谷田 一三	大阪府立大学大学院理学系研究科教授
辻本 哲郎	名古屋大学大学院工学研究科教授
中村 太士	北海道大学大学院農学研究科教授
森 誠一	岐阜経済大学コミュニティ福祉政策学科教授
森下 郁子	社団法人淡水生物研究所所長

敬称略 50音順

### 行政委員

布村 明彦	国土交通省河川局河川計画課長
久保田 勝	国土交通省河川局河川環境課長
関 克己	国土交通省河川局治水課長
宮本 博司	国土交通省河川局防災課長
天野 邦彦	土木研究所水循環研究グループ河川生態チーム上席研究員
藤田 光一	国土交通省国土技術政策総合研究所河川環境研究室室長

### 事務局

池内 幸司	国土交通省河川局河川計画課河川事業調整官
中込 淳	国土交通省河川局河川計画課企画専門官
塚原 浩一	国土交通省河川局河川環境課河川環境保全調整官
藤巻 浩之	国土交通省河川局河川環境課課長補佐
佐々木淑充	国土交通省河川局河川環境課課長補佐
金尾 健司	国土交通省河川局治水課河川整備調整官
緒方 和之	国土交通省河川局治水課都市河川室課長補佐
田村 秀夫	国土交通省河川局防災課防災調整官
杉原 直樹	国土交通省河川局防災課企画専門官
佐藤 文泰	国土交通省河川局防災課課長補佐
五道 仁実	(財)リバーフロント整備センター研究第四部次長
大橋 伸之	(財)リバーフロント整備センター研究第四部主任研究員

平成2年「多自然型川づくりの推進について」の通達が出され、河川が本来有している生物の良好な生息・生育環境に配慮し、あわせて美しい自然景観を保全あるいは創出する「多自然型川づくり」が始まりました。現在、災害復旧事業を含め全ての河川整備は多自然型川づくりとすることが基本とされ、これまでに数多くの事例が積み重ねられてきました。しかしながら、多自然型川づくりの主旨を踏まえ様々な工夫を重ねながら治水機能と環境機能を両立させた取り組みがある一方で、場所毎の自然環境の特性への考慮を欠いた改修を進めたり、他の施工箇所の工法をまねるだけの画一的で安易な川づくりも多々見られます。

多自然型川づくりが始まって15年経過した現在、このような「多自然型川づくり」の現状を検証し、新たな知見を踏まえた「今後の多自然型川づくり」の方向性について提言いただくため「多自然型川づくり」レビュー委員会を設立するものです。

# 『多自然型川づくり』レビュー委員会のスケジュール(案)

「多自然型川づくり」レビュー委員会

平成 17 年 9 月 12 日

現地見学会 「多自然型川づくり」施工事例の視察

- 境川（神奈川県）
- 平井川（東京都）



提言のための審議

平成 17 年 9 月 22 日

第 1 回委員会 これまでの「多自然型川づくり」の現状

- 多自然型川づくりに関するこれまでの取り組み
- 多自然型川づくりが目指したもの
- 多自然型川づくり 15 年の取り組み
- 多自然型川づくりの現状

平成 17 年 11 月

第 2 回委員会 「多自然型川づくり」の課題と方向性

- 多自然型川づくりの課題
- 今後の多自然型川づくりの方向性（提言の骨子）

第 3 回委員会 提言：今後の「多自然型川づくり」について（案）

- 提言（案）



「多自然型川づくり」レビュー委員会提言  
「今後の『多自然型川づくり』について」